

原町内会 見守りミーティングにて 防犯クイズを実施

12月7日 原町内会の見守りミーティングに総合警備保障株式会社 ALSOK さんにお越しいただき、『ほっとライフ講座～防犯クイズ～』を開催いたしました。

警備のプロならではの、高齢者をねらった犯罪の傾向と対策についてわかりやすく教えて頂きました。他人事ではない詐欺被害や空き巣。一部ではございますが、内容をご紹介します。

⚠️ 身内を装うオレオレ詐欺

電話で声を聞き分けられるのは男女の差くらい!少しでもつじつまが合うと本人だと思いこんでしまう!電話に出たらこちらから名乗らずに、必ず「どちらさま?」と尋ねる。

家族で合言葉を決めておく。被害が一番多いのは80代女性!!

⚠️ 還付金詐欺

公的機関が還付金手続きの為に ATM 操作を求めることはない。

⚠️ 侵入窃盗

最も侵入方法で多いのは鍵のかかっていないドア、窓から。

ゴミ出しや部屋の換気、洗濯物干しなど、ちょっとした外出の時も要注意!



そして…『泥棒が犯行を思いとどまった理由』第1位は、近所の人に声をかけられたり、ジロジロ見られたから

監視の目が行き届いている地域は、いつ通報されるかわからないので、泥棒にしてみれば非常に仕事がやりづらい地域といえます。

ぜひ、見慣れない人に対しては警戒する、声をかけるといったご近所同士のとりくみで、地域の防犯力を高めていきましょう。

小川小学校で 認知症サポーター養成講座



小川小学校4年生とその保護者を対象に、認知症サポーター養成講座を実施しました。子どもたちや先生、芙蓉園職員や介護予防サポーターさんにも参加してもらい、劇仕立てで認知症についての講座を開催。認知症状のある高齢者がレジで支払いに困ってしまっているときや、おうちが分からずに不安な気持ちになっているとき、どんな対応をしたらいいのか?どんな声掛けや心配りがあたらいいか、ということをみんなで考えました。

積極的な挙手もあり、「ゆっくり声をかけてあげる!」「おばあちゃんが分からなかったら、一緒にやってあげる!」と、前向きな、頼もしい意見がたくさんありました。

